

対面形式とオンライン形式の併用による中国語のハイブリッド授業 実践報告① ～一回生配当中国語「文法」の実践例

言語教育センター 田村彩子 於第3回教学実践フォーラム

発表内容

- 1, 授業概要
- 2, 事前準備
- 3, 当日の流れ
- 4, 授業後
- 5, ハイブリッド授業の良い点/悪い点
- 6, 成果

1, 授業概要

一回生配当中国語

- 週3回の授業
- 文法（日本人教員による文法の授業）
- コミュニケーション（ネイティブ教員によるコミュニケーションの授業）
- CALL（PCを使用した問題演習の授業、現在はオンラインで実施）

ハイブリッド授業実施概要

- 10月2週目～12月1週目まで実施
- 受講者数は1クラス30人程度
- 受講者の半分を対面、半分をZoom同時授業
- カメラ（MeetUp）とPC、スクリーンのある一般教室
- 発表者（田村）ハイブリッド授業の経験なし

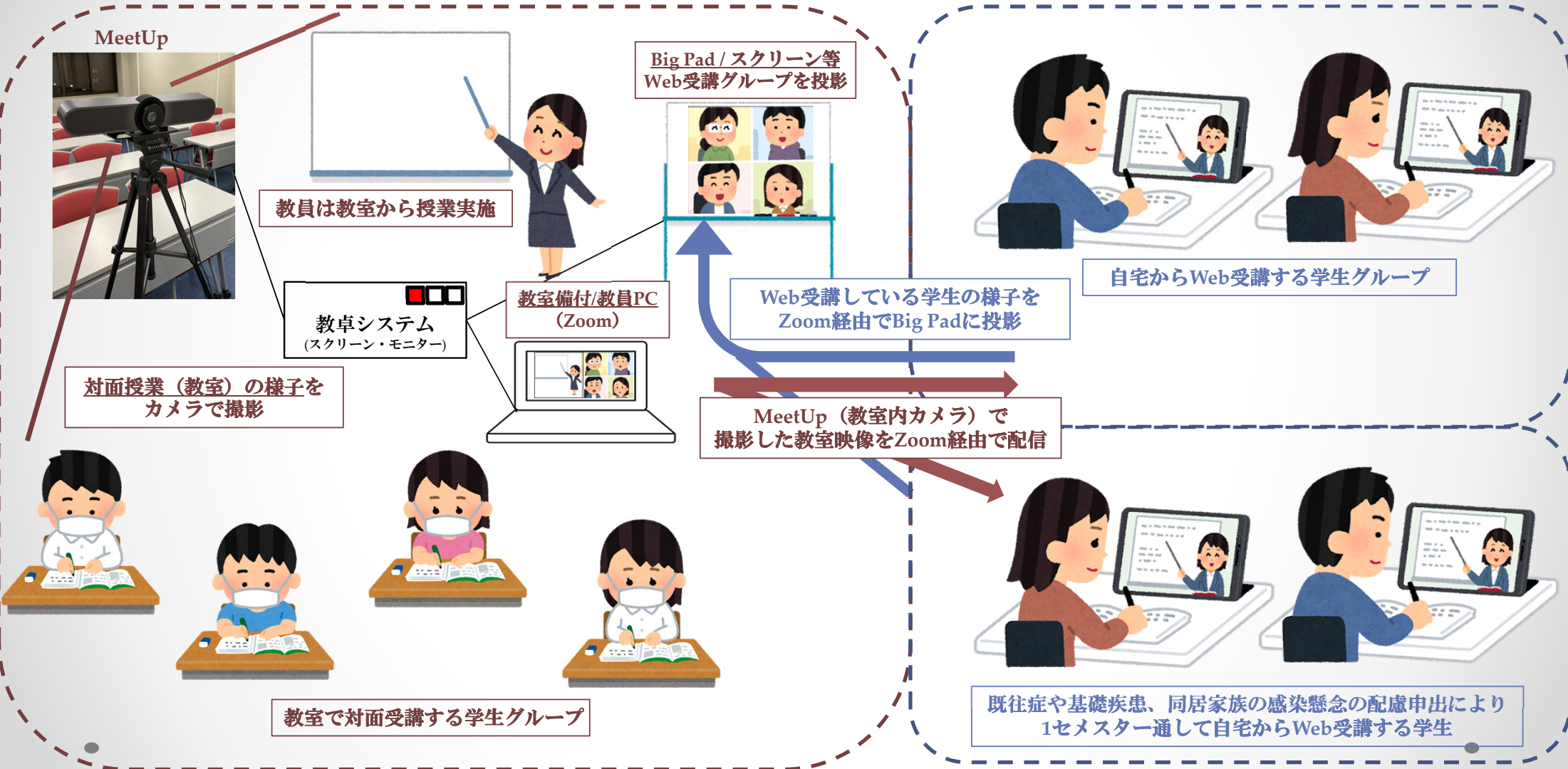
•

•

対面-Web同時授業イメージ

対面授業（教室内）

Web授業（Zoom）



2，事前準備

- ①授業方法をmanabaに提示
- ②授業スケジュールと名簿の作成・manabaに提示
- ③対面を希望しない学生の把握（流動的）
- ④授業用のスライド作成
- ⑤manaba小テスト作成

授業スケジュール（サンプル）

A班	B班
劉備	上官婉兒
張飛	王陽明
関羽	李卓吾
諸葛亮	楚留香
凜雪鴉	陸小鳳
殤不患	曹操
浪巫謡	曹植
周瑜	司馬懿
魯肅	黃蓉
孫權	令狐冲
呂布	欧陽鋒
陸機	袁達
謝靈運	独孤陳
鄭玄	陸天命
司空摘星	柳展雄
西門吹雪	鍾離春
丹翡	

展開	水(文法)	金(コミュニケーション)
1	9・30 Zoom	10・02 Zoom
2	10・07 Zoom	10・09 Zoom
3	10・14 A対面	10・16 B対面
4	10・21 B対面	10・23 A対面
5	10・28 A対面	10・30 B対面
6	11・04 B対面	11・06 A対面
7	11・11 A対面	11・13 B対面
8	11・18 B対面	11・20 A対面
9	11・25 A対面	11・27 B対面
10	12・02 B対面	12・04 A対面
11	12・09 A対面	12・11 B対面
12	12・16 B対面	12・18 A対面
13	12・23 A対面	12・25 B対面
14	01・06 B対面	01・08 A対面
15	01・13 A対面	01・15 B対面

対面を希望しない学生の把握

- 事前にmanabaで教員のメールアドレスを示し、連絡する形にした
 - 当日の急なZoom参加を許可した
 - あまり厳密に管理しなかった
 - 対面授業の出席者は減少した（12月1週目時点で0人になったクラスもあった）

3, 当日の流れ

授業前

- ①教卓のPC、スクリーン、マイクなどの電源を入れる
- ②MeetUpのUSBケーブルをPCにさす（ささっている時もある）
- ③Zoomを起動する（マイクとオーディオをMeetUp に）
- ④授業準備

→少なくとも10分程度は必要。前の授業が終わっていないと時間が足りない

授業

- 音読 対面組のスピード、習熟度に合わせて一緒に練習。
Zoomはミュート。
- 解説 スクリーンで解説。
- 発表 対面、Zoomどちらも発言してもらう。
- 小テスト 単語のディクテーションテスト。

→全面对面授業の頃とほぼ同じ内容

解説（サンプル）

Ⅱ 差量補語付きの比較文

【復習】 比較文

A比B～ AはBより～

A比B＋**形容詞**＋**差量補語**

这个比那个**贵一点儿**。

これはあれより少し高い。

- PowerPointで作成し、PDFで使
用した

- 教科書のPDF（条件付きで使
用許可を得た）と併用した

- 適宜インターネットも使用

小テスト(サンプル)

第10課 単語テスト

設問数 10 経過時間 00:00:21

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

中断

提出確認

- ディクテーション
 - 教員が読み上げる
 - 聞こえなかった時はリクエスト可
 - 対面組は紙に手書き
- 中国語は評価が難しい

4, 授業後

- 小テストの結果をmanabaに反映
- 授業内容とその日の課題をmanabaにアップ

5, ハイブリッド授業の良い点/悪い点

良い点

- 友達に会えて喜んでいる学生がいる
- 対面組の反応や習熟度が見えやすい
- 対面とオンラインと選べる

問題点

- 強制できないことが多く、対面のメリットが生かしにくい
(例：マスクを外しての発音練習はできない)
- 教員 1 人で 2 つの授業をやっている状態
- 息苦しい、のどが痛い
- 寒い

•

•

問題解決の工夫

- 教員 1 人で 2 つの授業をやっている状態（タスクが多い）

→ 教室で Zoom 授業を行っている形にしてタスクを減らした。
解説や問題はスクリーンに映し、黒板は使用しなかった。

結果：

対面授業のメリットを生かせなかった。

Zoom チャットの書き込み確認や、遅刻者の承認などの際にスクリーンから消すのを忘れやすい。

6, 成果

- ・ オンラインでは不正を監視できないため、公正な評価をしづらい

参考 中国語検定過去問WEB 4級（同じ専攻のあるクラス）

2019年度 平均：40点

2020年度 平均：70点

- ・ 単語やフレーズの定着に不安
- ・ 文法の理解は例年とあまり変わらないか

・

・